

1. 件名：「大飯発電所原子炉施設保安規定変更認可申請（3号炉の高経年化技術評価等）に関する事業者ヒアリング（7）」

2. 日時：令和3年4月8日（木） 10時00分～11時35分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（※一部TV会議システムによる出席）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ 実用炉審査部門

塚部管理官補佐※、宮本安全審査専門職

長官官房技術基盤グループ

システム安全部門

小嶋上席技術研究調査官、渡辺技術研究調査官

関西電力株式会社

原子力事業本部 原子力土木建築センター 土木建築設備グループ 副部長

他9名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る資料およびヒアリングスケジュール案
- ・大飯3号炉 高経年化技術評価に係る審査コメント反映整理表（概要説明）
- ・大飯発電所3号炉 高経年化技術評価（コンクリート構造物および鉄骨構造物）補足説明資料

以上

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|---------|--|
| 0:00:03 | 原子力規制庁の宮本です。 |
| 0:00:07 | ではこれから大飯発電所 3 号炉の高経年化技術評価 30 年目に係る保安検査保安規定の変更認可申請についてヒアリングます影響はコンクリート構造物及び鉄骨構造物のことについて進めたいと思っております。 |
| 0:00:24 | それでは関西電力の方から補足説明資料全体の説明ですね、あと、こちらからすでに質問をしておりますので、それに対する回答というのを引き続きお願いいたします。 |
| 0:00:44 | 関西電力原子力事業ホームです。それではまず本日の資料を確認させていただきます。本日資料は 3 種類ございまして、審査スケジュールコメント 3 名整理事象として、コンクリート構造物及び鉄骨構造物の補足説明資料となっております。 |
| 0:01:02 | コメント蔓延うち整理表につきましては、前回の 3 月 31 日でのヒアリングコメントを反映してございます。それでは補足説明資料を用いてご説明させていただきます。 |
| 0:01:26 | はい。ファイリングの森山でございます。そうしましたら、大飯発電所 3 号炉高経年化技術要員/Aをコンクリート構造物及び鉄骨構造物の時説明資料の |
| 0:01:42 | 御説明をさせていただきます。まず個人をお願いいたします。 |
| 0:01:49 | 目次でございますけれどもまず最初に構成を御説明させていただきます。1 ぽつ概要といたしまして、劣化でしょう。要因の紹介がございます。2 ポツ、基本方針としまして、 |
| 0:02:05 | ご懸念評価は審査ガイド等での要求事項について記載してございます。 |
| 0:02:12 | 3 ポツ、代表構造物の選定といたしまして、代表構造物の選定と高経年化対策上着目すべき要因について記載がございます。 |
| 0:02:25 | 4 ポツ代表構造物の技術評価Aとしまして、先ほどの 3 ポツで全停した構造物を及びちゃ※着目すべき要因に対する技術評価を行ってございます。 |
| 0:02:41 | 5 ポツ代表構造物以外の評価のポツのまとめを行った構成になってございます。ページ 1 ページをお願いいたします。 |
| 0:02:53 | こちら概要でございますが、コンクリート構造物及び鉄骨構造物の劣化状況の補足として営業過小評価内容の補足して資料を取りまとめたものでございます。 |
| 0:03:06 | 次のページ、表 1 をお願いします。 |
| 0:03:11 | こちらはコンクリート構造物等鉄骨構造物の経年劣化事象要因をまとめたものでございます。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:03:20 | コンクリート構造物につきましては、でっかでしょうとして強度の低下、遮へい能力の低下最下能力の低下、それからその次のページのテンダンの緊張力てたこれらの事象がございます。 |
| 0:03:38 | それぞれの事象に対する用につきましては右に記載の通りでございます、節減は割愛させていただきます。 |
| 0:03:47 | 鉄骨構造物 |
| 0:03:50 | 鉄骨構造物の劣化事象につきましては強度の低下でございます、劣化要因は右に記載している通りでございます。 |
| 0:03:59 | 次のページをお願いします。4 ページです。 |
| 0:04:02 | 2 ポツ、基本方針でございます。こちらでは実用化公田用原子炉施設における高経年化対策審査ガイド及び高経年化改革実施ガイドの要求の状況についてきて整理してございます。 |
| 0:04:20 | 次のページをお願いします。 |
| 0:04:23 | こちらが表 2 でございまして上に合弁か探査と地震以外の下に合計 2/ 対策、上に審査ガイド下に利子ガイドの要求事項を記載してございます。説明は割愛させていただきます。 |
| 0:04:39 | 6 ページをお願いします。 |
| 0:04:42 | 参考 II A 代表構造物の選定でございます。こちらで代表構造物を選定してございます。 |
| 0:04:51 | 単点 1.1 評価対象ごとの選定とグループ化してございますけれども、択の構造物の中から重要度指針におけるクラス 1 に該当する構造物または該当する機器を支持する構造物 |
| 0:05:06 | クラス 3 に該当する高温高压の環境下にある機器を支持する構造物などナカございまして、これらに該当する対象構造物を選定して鉄骨構造、コンクリート構造物かってこと構造物にグループ化をしております。 |
| 0:05:24 | なおですね PCCV プレスとコンクリート製原子炉格納容器 A につきましては、本評価にて評価をしてございますが、ABC 部位は外部遮へい器と原子炉格納施設に |
| 0:05:40 | この評価手法及び補足説明資料では分類といいますか整理してございます。 |
| 0:05:48 | それから観点一定に代表構造物の選定でございます。 |
| 0:05:53 | グループ化してグループ化した評価対象構造物につきまして、使用条件などを利用して代表構造物を選定してございます。コンクリート構造物の選定結果が次の次のページでございます。そっこちらですね。 |
| 0:06:10 | 表 4 コンクリート構造物における代表構造物選定結果ええとありまして、A 列で |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:06:20 | 縦に対象構造物が並んでおりまして日通としまして、重要度分類、それから使用条件としまして、経過年数を本部の有無や放射線の振動の設置環境とこういったもののかんがみまして、 |
| 0:06:40 | 対象代表構造物を選定してございます。代表構造物として選定されたものが右から2番目の列選定という列に二重丸送っているものでございます。選定された理由は一番右に記載してございます。 |
| 0:06:58 | それから、時鉄骨構造物の選定結果はその次の情報でございます。 |
| 0:07:05 | こちらも同様に対象構造物が縦に並んでおりまして、重要度分類を使用条件としまして経過年数を設置環境等の分類を記載がでございます。 |
| 0:07:20 | 選定された結果としましては右から2番目の列に、それから選定理由につきましては一番右の列に記載してございます。 |
| 0:07:33 | 引張から10ページ、3.2でございます。 |
| 0:07:40 | 先ほど代表広報物として選定したものに對しまして、着目をすべき経年劣化事象を整理してございます。結論としまして、着目すべき経年劣化事象は、このページに町のほうに記載しております通り、 |
| 0:07:57 | コンクリート構造物の影響度低下劣化要因としまして熱、放射線照射中性化、塩分浸透、機械振動、 |
| 0:08:05 | 昨年能力低下としまして、熱でエイティング殿緊張カペーパーとしましてプレストレス一つこちらが着もん着目すべき経年劣化事象でございます。 |
| 0:08:17 | これらは次のページ以降に示しますし、①と②の除いたものでございます。 |
| 0:08:27 | まず①としましては、円形人べき後見人対策上着目すべき経年劣化ではない事象日常劣化事象でございます。日常劣化管理事象でございます。こちらは想定した劣化機構等に基づき適切な保全活動を行っていることから着目すべき。 |
| 0:08:47 | 臨床ではないと判断しているものでございまして、具体的には表7、下の表7に記載してございます。 |
| 0:08:56 | 要因、それぞれの要員ですけれども、アルカリ骨材反応の凍結融解、火災時などの熱、それから鉄骨構造物の腐食、 |
| 0:09:09 | こちらが日常劣化管理事象でございます。理由は右に記載しているトイレそれからの説明は割愛させていただきます。 |
| 0:09:22 | 次のページ、表8でございましてけれども、こちらが日常劣化管理事象に関する点検及び公衆の実績でございます。 |
| 0:09:32 | 先ほど挙げました劣化要因に對しまして点検方法先見品の電気品欠陥保証実績を記載してございます。 |
| 0:09:43 | こちらすべてですね、点検結果としまして、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:09:49 | 例えばアルカリ骨材反応ですと、アルカリ骨材反応に起因すると判断されるひび割れが認められていないということですので同様に有害な |
| 0:10:01 | 有害なもののみとかがってございませんので一番右の補修実績も保証実績なしとさせていただきます。 |
| 0:10:09 | 次のページをお願いします。 |
| 0:10:12 | 13 ページでございます。こちらは②としまして、 |
| 0:10:19 | 着目すべき経年劣化事象ではないでしょう。日常劣化管理事象以外でございます。 |
| 0:10:25 | こちら今後OKねえ経年劣化事象の進展が考えられないまたは進展傾向が極めて小さいと考えられることから経年劣化後見人化対策上着目すべきではないと判断しているものでございます。 |
| 0:10:41 | 具体的には表 9 に記載している通りでして、天候の緊張力ペーパーにおける熱と放射線照射、それから不測時のそれから、次のページの |
| 0:10:57 | 鉄骨構造物の風などによる疲労でございます。 |
| 0:11:01 | それぞれの理由につきましては右に記載の通りでございますので説明は割愛させていただきます。 |
| 0:11:10 | 次のページのもう一つ次のページをお願いします。 |
| 0:11:15 | 先ほどご説明しました。着目すべき事象と |
| 0:11:21 | この残すべき事象ではないでしょうの星取表がこちらになっております。 |
| 0:11:27 | ○自社丸Aと書いてありますが、着目すべき事象で白い三国が日常劣化管理対象省庁へ黒い参画が日常劣化管理対象事象以外のものでございます。説明は割愛させていただきます。 |
| 0:11:46 | 17 ページをお願いします。 |
| 0:11:49 | 4 ポツ、こちらからですね、これ以降ですね先ほど丸A0 事象と呼ばせてもらいますけどもまるで者をとって選ばれたものに対しまして技術評価を行ってございます。まず一つ目がコンクリートの強度低下のうち、病院につによる強度低下でございます。 |
| 0:12:11 | こちらは評価対象部位としまして、運転時に最も高温となる内部コンクリート、全停してございます。そのうち評価点につきましては、ガンマ発熱の影響の大きい炉心領域部。 |
| 0:12:28 | それから原子炉容器サポートRVサポート直下部でございます。内容はできずに示す通りでございます。 |
| 0:12:38 | 評価につきましては、コンクリートの温度制限値とポンドV解析の結果を比較することで行ってございます。 |
| 0:12:45 | その結果が指令両括弧 2 に記載しておりまして、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:12:50 | コンクリートの最高温度は 52.0 でございまして、制限値である 65 度以下であるため、問題とならAと結論付けております。次のページをお願いします。 |
| 0:13:04 | 次 4.1. 2、放射線による強度低下でございます。 |
| 0:13:09 | こちらは評価対象部位としまして一次遮へいの一時併記を選んでございまして評価点としましては、中性子及びガンマ線照射量が最大となる一次遮へい利益炉心側コンクリートといたしました。 |
| 0:13:27 | 瓶評価につきましては、評価点における 60 年時点で予想される中性子照射量及びガンマ線照射量を解析により算出していき値と比較することで評価してございます。 |
| 0:13:40 | 両括弧 2 次格評価結果を記載しておりますまず、また(エ)中性子照射量でございます。 |
| 0:13:47 | こちらの閾値につきましては最新知見でございます。1×10 ⁻¹⁹ 条によるを採用してございます。 |
| 0:13:57 | 中段以降ですね評価結果が記載してございまして 60 年時点における中性子照射量は 1.83×10 ⁻¹⁹ 条のトラックでございまして、先ほどの 1×10 ⁻¹⁹ 条にドローンを超えますが、その超える範囲が、 |
| 0:14:15 | 一時遮へい締結 1 次遮へい器の厚さAに比べて小さく、深さ方向でも最大 4cm 程度であるということを踏まえまして、耐力評価を行ってございます。保守的に内部コンクリートからこの車両を入れる部分を除いても、 |
| 0:14:33 | ポンプリーの圧縮耐力が地震時の鉛直荷重などの設計荷重を上回ること、またそれから日本電技懲戒の事案が 46011987 に基づく内部コンクリートの開台本最大せん断ひずみ評価に対して影響がないということを確認してございます。 |
| 0:14:54 | 次にガンマ線照射量についてでございます。 |
| 0:14:58 | こちらで閾値につきましてははにかけ10 ⁻⁸ 条、 |
| 0:15:04 | ぜひ、いわゆる英語で採用してございまして、その下の欄に所車両が記載しておりますが、大飯 3 号の 60 年時点の照射量は 1.14×10 ⁷⁰ 条aでございまして、 |
| 0:15:20 | 2×10 ⁻¹⁰ 条をあらうなんですね。下回っていることから、影響がないものと考えてございます。 |
| 0:15:29 | 以上から、放射線による影響度添加に対しては、いろんな人に 1 人結論出てこないです。 |
| 0:15:37 | 次に 19 ページ、A4 点塩酸中性化による強度低下でございます。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:15:45 | まず評価の概要としまして、こちらは評価対象としまして、空気環境の違いが中性化の進展に影響を与えるという知見を踏まえまして行いにつきましては、空気環境測定の結果を踏まえての影響度が最も大きい。 |
| 0:16:04 | 原子炉周辺建屋及び廃棄物処理建屋の壁面を選んでございますが、屋外につきましては空気環境に大きな違いが生じないため、空気との接触時間が長い海水ポンプ室のうち、気中帯を選定してございます。 |
| 0:16:21 | はい。 |
| 0:16:22 | 協会の方法について、以下の手順と一緒にしてございます。 |
| 0:16:29 | まずこの公営中性化深さの推定でございます。こちらはですね、60年経過時点の中性化深さをまず中性化速度式政令算出します。ここでは森永式及びルートT式を採用してございます。 |
| 0:16:49 | 次に耐雷中性化深さの相違点の抽出です。先ほど算定しました。森永式及びルートT式による算出結果のうち、耐雷となるものを抽出してございます。 |
| 0:17:06 | 頭越してございますけれども鉄骨鉄筋が腐食し始める時の中性化深さの算出とペイしまして行いにつきましてはかぶり厚さ2cm超えた辺り、屋内につきましてはかぶり厚さの値をそれぞれ |
| 0:17:22 | それぞれOH経営的な腐食し始める時の中性化深さとしてございます。 |
| 0:17:28 | 結果としましてはこれらのBとCを比較することで行ってございます。 |
| 0:17:35 | 表11にその結果を示してございますけれども、 |
| 0:17:41 | 右から2番目の率が60年経過時点の中性化深さ、一番右が鉄筋が腐食し始める時の中性化深さでございまして、それぞれ60円かつての中性化深さが腐食し始めるときの中期計画を上回っていないことを下回っていることを確認しております。 |
| 0:18:01 | なので、健全性評価上問題とならなかつたとしたのがあります。 |
| 0:18:07 | 次お願いします。 |
| 0:18:09 | 次4.1.4、塩分浸透による強度評価でございます。 |
| 0:18:15 | 評価対象部位につきましては取水構造物を選定して評価点につきましては推移を考慮した上で、環境条件が異なる気中帯、干満たい海中対応を選定してございます。協会につきましては確保ABCに期待せず、 |
| 0:18:31 | おりますけれども、まず60年時点における鉄筋腐食減量の搬出を行います。 |
| 0:18:39 | こちら、まず①拡散方程式としましてすいませんここ誤記でございましてけれども、塩化物イオン濃度の特別点検によると記載がありますが、こちら聞いてございます塩化物イオン濃度の測定結果をもとに運転開始経過年ごとのPTにおける塩化物イオン量を監視いたします。 |
| 0:19:00 | それを用いまして森永式により、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:19:05 | 運転開始経過年数ごとの鉄筋塗色減量を算出いたします。 |
| 0:19:11 | 次に片括弧Bでございますけれどもかぶりコンクリートにひび割れが発生する時点における鉄筋腐食減量の監視ということでかぶり厚さを用いまして、でき腐食減量を算出いたします。 |
| 0:19:26 | それではBを比較することで評価を行ってございます。下の表 12 が |
| 0:19:35 | 評価の結果の一覧でございます。 |
| 0:19:38 | 気中帯、干満大会中退の結果が記載がございまして、右から 2 列目が 60 年経過時点での出席委員の腐食減量でございまして一番右がかぶりコンクリートにひび割れが発生する時点の腐食減量でございます。 |
| 0:19:56 | よかねてるものがひび割れが発生する時点のものよりも下回っているということから、健全性評価上問題とはならないとしてございます。 |
| 0:20:07 | 次をお願いします。 |
| 0:20:10 | はい。 |
| 0:20:11 | 4.1. 5、機械振動による影響度低下でございます。 |
| 0:20:17 | 100 まず評価対象部位としましてはシンプルの影響を受けるTbがないためにとぴあにあるタービンぐらいを全停電しまして評価点としましては局部的に影響を受ける可能性がある基礎ボルト周辺のコンクリートを選定してございます。 |
| 0:20:35 | 評価結果でございますけれども、機械振動により、機器のコンクリート基礎の定着工法の支持力が失われるような場合、機械の異常振動や定着部周辺コンクリートに有害なひび割れが発生すると考えられますが、 |
| 0:20:52 | こちらにつきまして定期的に目視確認を実施しておりますが、次回深度に起因するユーザーの費用等は発生していないということを持ちまして、長期健全性所健全性評価上問題とはならないとしてございます。 |
| 0:21:08 | 22 ページをお願いします。 |
| 0:21:13 | 4.1. 6、コンクリートの強度試験結果でございます。 |
| 0:21:18 | 要因ごとの技術評価をに加えて、K現状のコンクリートの強度を確認してございます。 |
| 0:21:28 | エタノールのコンクリート構造物から採取した資料について破壊試験を行った結果を表 13 に示してございます。なおですね、外部しゃへい今PCCVでございますけれども、外部遮へい機能につきましては、プレストレストプレストレス構造物でございまして、コンクリートに圧縮力が、 |
| 0:21:48 | 作業しておりますのでコア採取を避けるべきと判断して 2 番の判断を用いた非破壊試験により影響の推定を行ってございます。 |
| 0:21:58 | 右から 2 列目が |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:22:01 | 副代表構造物の平均圧縮強度でございまして一番右が設計基準強度でございまして、平均反射強度が設計基準強度を上回っているということを確認しております。おります。 |
| 0:22:15 | 確認してございます。 |
| 0:22:19 | はい、次のページをお願いいたします。 |
| 0:22:22 | 4.2 コンクリートの遮へい能力の低下でございまして。 |
| 0:22:27 | こちらは遮へい能力の要員としましてへ熱を要因としてございまして。 |
| 0:22:32 | 評価対象部位としましては内部コンクリートの一時遮へいできる評価点としましては運転時に最も高温となる炉心領域部及び、RVサポート直下を選定してございまして。 |
| 0:22:43 | こちらにつきまして制限値と温度分布解析の結果、被ばくすることで評価を行っております。 |
| 0:22:50 | 評価結果としましては、コンクリートの最高温度は炉心領域部で 52.00 でございまして、中性子遮へいの 80 駐車券の場合の閾値であります 88 えい何万円遮へいの場合の位置があります 177 度、それぞれを下回っているということから、 |
| 0:23:09 | 健全性評価上問題とはならないとしてございまして。 |
| 0:23:13 | 次をお願いします。 |
| 0:23:16 | 4.3 テンドンの緊張力低下地域プレストレスの損失でございまして。 |
| 0:23:22 | 評価対象行為はPCCVでして評価点としましては、30 年目の供用期間中検査、ISIにおける委員長及び検査を行った海上テンドン選定してございまして。 |
| 0:23:36 | 評価手順につきましては、図 2 にイメージが記載してございましてけれども、 |
| 0:23:43 | まず真ん中、真ん中に記載のあります。緊張力の測定値、こちらが 30 年目の ISIへ測定した結果でございまして。こちらからプレストレス損失、これは 30 年以降 60 年までに損失されると想定されるプレストレス損失を低減することで、 |
| 0:24:03 | 安定してございまして。 |
| 0:24:08 | 次のページをお願いいたします。 |
| 0:24:12 | テンドンの緊張力の緊張力データの長期的な傾向についてお示してございまして、こちらはプレストレス損失の増加というものが時間の経過とともに緩やかになります。 |
| 0:24:26 | そのため緊張力データが緩やかになりまして最終的に、ほぼ一定となりますので、こちらが下の図 3 を図 4 に示している通りでございまして。 |
| 0:24:39 | 運転開始後 60 年経過時点の変動の緊張力予測はVessel損失の各要員の入力値を安全側にすることで保守的に算定してございまして。なおプレストレス損失は、第 1 回工事計画認可資料A-Aに基づきまして、3 点。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:24:59 | をしてございます。次のページをお願いいたします。 |
| 0:25:04 | 両括弧 2 評価結果でございます。表 14 に示しておりますけれども、 |
| 0:25:13 | 一番左の表 14 の一番左が環状年目 ISI の結果でございます。そこからプレス 討論プレストレス損失を減じたものが真ん中の運転開始後 60 年経過時点の 予測値でございます。 |
| 0:25:28 | これは一番右に示す設計要求値を上回っていることから、健全性評価上問題 とならナカしてございます。 |
| 0:25:36 | なおですね後程こうして別名させていただきますが、コメントでちょうどい る設計要求値に関する記載の充実につきましては、米 1a に記載しております 通り、第 1 回工事計画認可資料に基づき設定された点の定着部の緊張力、 |
| 0:25:55 | のことでございまして電動の J-PARC 電動の定着部の定着完了後の緊張力 から経年による緊張力の算出を考慮したものでございます。後程詳しく説明さ せていただきます。 |
| 0:26:11 | 27 ページ 4 / 4 は現状保全でございます。 |
| 0:26:16 | それぞれの事象、コンクリートのこの個人を構造物の強度低下につきまして は、影響度に支障をきたす可能性のあるような有意な欠陥がないことを目視 点検により確認しております、必要に応じて都市ごとでしてございます。 |
| 0:26:32 | 合わせて強度に急激な経年劣化が生じないかということを非破壊試験等によ り確認的に確認してございます。 |
| 0:26:42 | コンクリート構造物の遮へい能力低下につきましては有意な欠陥が何層目視 点検により確認してございます。 |
| 0:26:50 | またテンドンの緊張力ペーパーにつきましては、緊張応力に昇格者を来たす ような急激な低下がないということを緊張力検査及び定着化の目視点検によ り確認してございます。 |
| 0:27:02 | 4 ポツを総合評価でございますけれども先ほど来説明させていただいている 4.1 から 4.3 の技術評価の結果と 4.4、現状保全をより現状保全を継続するこ とにより健全性が維持できると記載してございます。 |
| 0:27:21 | 4.4. 6、高経年化への対応としまして、現状保全方法あり健全性を確認を意見 していくものとし、コウケン本対策上の観点から現状保全に追加すべきものが ないとしてございます。 |
| 0:27:40 | 次のページ、5 ポツ代表ボード製以外の評価でございますけれども、グループ 内全構造物への展開としましてグループ内構造物の使用条件は、代表構造 物に包含されていることから、技術評価結果今回の技術評価結果も代表構造 物にほぼ港湾された結果となるとしてございます。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:28:02 | 次のページをお願いします。あろポツまとめでございます。こちらで審査ガイドの適合性について説明、整理してございます。 |
| 0:28:13 | 2 ポツで示した要求事項について技術評価を行った結果、すべての要求事項を満足していることを確認してございます。詳細は表 15 に示す通りでございますけれども細かい説明はさせていただきます。 |
| 0:28:29 | 介護に 30 ページのポツに施設管理に関する方針として策定する事項としまして、施設管理に関する方針として作成。 |
| 0:28:42 | 事故が抽出されなかったとしてございます。 |
| 0:28:46 | 以上がこの説明資料の御説明でございまして、これから |
| 0:28:54 | この 9 円の説明に移らせていただきたいと思います。 |
| 0:29:00 | 鈴木 |
| 0:29:13 | 関西電力の平本と申します操作等あたしの方からは、資料大いにありますので、コメント反映整理表のうち、コンクリートに関するこの辺の整理表、 |
| 0:29:29 | あと、先ほどの資料さの補足説明資料をもとにして御説明をさせていただきます。 |
| 0:29:38 | まず資料 2 のコメント反映整理表のほうですが、私のほうが御説明させていただくのは、No.4 からNo.8 のコメントに関してになります。 |
| 0:29:51 | まずNo.4 につきまして、 |
| 0:29:55 | コメント内容としましては、補足説明資料、別紙 10 ページ 10-1 ページにおける観察した記録の正式名をお示したということをいただきまして、それに対する対応としましては、 |
| 0:30:11 | 次の右の欄になります。観測したデータを記録するシステムの正式名を記載いたしました。こちらにつきましては、資料 3 の説明資料の |
| 0:30:24 | 10-1 ページになります。 |
| 0:30:27 | こちらの資料が別紙 10 の資料になりまして、ルールは塩分浸透の評価解消及び消火点の選定過程についてになります。こちらに記載しております。説明資料の二重下線で示しているところになります。 |
| 0:30:52 | 続きまして、同様の補足説明資料別紙 10、10-1 ページに関するところではありますが、コメント整理表のナンバー5 につきましても、御説明をさせていただきます。 |
| 0:31:08 | こちらにつきましては、2010 年 1 月から 2016 年 7 月までの町営返答経理事務することとしていただきまして、こちらについては、同様の別紙 10 につきまして、地層変化グラフを明示いたしました。 |
| 0:31:27 | そうしましたら、まずはコメントのナンバー4 につきまして、10-1 ページについて御説明をさせていただきます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:31:39 | コメントにつきましては、ウェイ。 |
| 0:31:45 | 最高潮位及び最低潮位につきましては、発電所内において、2010年1月から2016年7月までの期間で観測を実施した来により設定しております。 |
| 0:31:59 | 観測を実施したデータにつきましては大飯発電所のディーエムエス大きいMSと言われる、運転状態管理システムにおいて記録としている値であります。 |
| 0:32:13 | こちらにつきましてはコメントに対する回答となります。次にコメント5に対しては、それぞれの評価点については、以下に示す通りであり、2010年1月から2016年7月の基盤の弔慰へんと。 |
| 0:32:32 | 添付1に示すと来参加していただきました店舗位置につきましては、そのページ、10-2、JAの3ページに記載をしているグラフとなります。 |
| 0:32:45 | それでは、10-2ページをご覧ください。 |
| 0:32:50 | こちらのグラフについては、2010年1月から2010年12月末への潮位変化をグラフ。 |
| 0:32:58 | したものにになります。グループの反映に示す通り、年ごとに色分けをしたグラフとなります。 |
| 0:33:07 | また、この潮位変化によって、最高潮位APプラスA. 86を赤線で最低潮位、JP-B断面たる青線で示してありまして、その間が緩慢体とさしていただいております。 |
| 0:33:25 | 次のページをお願いいたします。 |
| 0:33:28 | 次の経費の10-3ページですと、こちらのページにつきましては、2013年1月から2016年7月までの小委変化を5年ごとに色分けして示したグラフとなります。 |
| 0:33:44 | 以上につきましては、コメントをNo.4とNo.5の内容になります。 |
| 0:33:51 | 続きまして、正式なものがそれに対するコメントになります。 |
| 0:33:57 | 笑プランにつきましては、補足説明資料、別紙11添付1における南面のオーバー最深位置について地域からナカ谷がわかるように情報を提示することとしていただきまして、そちらに対するコメント対応につきましては、 |
| 0:34:18 | 塩化物イオン濃度の測定値全において最終値ごとにBPからの距離を明示させていただきましたが、こちらの市側につきましては、下に資料を③の |
| 0:34:35 | 11の2ページになります。 |
| 0:34:40 | それらの資料につきましては別紙11のO. 設置の資料になりますが、こちらの火線二重線で示しているところが効いて消費したところになります。 |
| 0:34:54 | それにつきましては、気中帯はPT+5.3mの相場んで最新してありまして海中体については聞いてマイナス5. 詰めてるの底盤で実施しております。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:35:09 | また緩慢体につきましては側壁で行って記載をしております。それぞれの位置で実施をしております。なお、こちらのTPPの位置につきましては、コアの最新期のセンターを示しております。 |
| 0:35:24 | ジャム内容がコメント 6 の内容となります。 |
| 0:35:28 | 続きまして、 |
| 0:35:30 | コメント整理表によりましてNo.7 につきましてご説明をさせていただきます。 |
| 0:35:37 | No.7 の今年度内容につきましては、づく説明資料と別紙 12、住民の 1 ページ。 |
| 0:35:47 | の鉄筋腐食減量について調査時点分担開始後 60 年経過時点及び個人コンクリートにひび割れが発生する時点のそれぞれ前後を 5 年間の値を記載することをいただいております、こちらについての対応は |
| 0:36:07 | 調査時点の運転開始後 67、経過したそれぞれ前後なん。 |
| 0:36:14 | 地点の値を記載しております。なお、ひび割れが発生する時点につきましては、発生時期ではないため、注釈を明示しております。 |
| 0:36:26 | また同様に補足説明資料別紙 12 に監査役コメントですが、こちらについてナンバーあっち。 |
| 0:36:34 | のコメントとなりますが、こちらにつきましては別紙 10 に添付 1 における反対の酸素濃度限度とする根拠を提示することでもいただきまして、こちらにつきましては、反対の酸素濃度 |
| 0:36:51 | のオープン化を明示しております。こちらの資料につきましては、補足説明資料、別紙 12 の |
| 0:37:00 | 12-1 ページをご覧ください。 |
| 0:37:05 | これらのページが塩分浸透における鉄筋が腐食減量の選定過程及び結果についての内容になります。 |
| 0:37:17 | まずポイントのNo.ちょっと前後しますが、まずコメント 8 に対する内容についてご説明をさせていただきます。 |
| 0:37:26 | こちらにつきましては、2 ポツ上限及びパラメーターの項目に二重線で記載をしているところになります。 |
| 0:37:35 | CAMP位置における測定選定について、測定値作成に必要なパラメーターの値を勘案タイト中退なSaaS儘田については、添付 2 に示す研究論文を引用しております。 |
| 0:37:52 | こちらの感覚につきましては、 |
| 0:37:55 | フェーズ 2 が、 |
| 0:37:58 | 22-3 ページをご覧ください。 |
| 0:38:03 | こちらの 10-3 ページにつきましては 4 分の抜粋になりますが、最初の部分を計らいを記載しております。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:38:13 | こちらの内容については、カマン体に対してはやっぱり見ておりました、4 行目に回収 4 象溶存酸素濃度を考慮して 0.6 に設定したと伝えされておりますので、機器の引用して、 |
| 0:38:32 | 設定した値を算出しております。次に、コメントをな内容となります。再度 12-1 ページをご覧ください。 |
| 0:38:47 | 前トナーに対する内容については、3 ポツ結果の項目に示す二重線のところになります。 |
| 0:38:57 | こちらにつきましては、調査時点及び運転開始後 60 年経過時点での前後 5 年時点の鉄筋の腐食減量については、添付 3 に記載させていただいております。 |
| 0:39:13 | なお、下の表に記載されております。結果について、 |
| 0:39:19 | のうちかぶりコンクリートにひび割れが発生する時点という欄につきまして、米印で記載をさせていただいておりますが、かぶりコンクリートにひび割れが発生する時点の鉄筋腐食減量、設定値 |
| 0:39:36 | 実際さを記載をさせていただいております。それでは前後を 5 年時点の削減量につきましては、添付 3 の掲示数が 72-4 ページになります。 |
| 0:39:55 | こちらについてがじゃんが 5 年時点の鉄筋の腐食現状になります。 |
| 0:40:02 | なお、こちらの表につきましても先ほどと同様にかぶりコンクリートにひび割れが発生する時のところに米印を記載しております、症の下に記載せ書き、 |
| 0:40:18 | 適任腐食減量の水準値であるというところへ |
| 0:40:24 | 記載させていただいております。以上の内容がコメント No.4 から No.1 の内容となります。 |
| 0:40:36 | 続きまして、関西電力の裏が経営コメントナンバー 10 番について説明をさせていただきます。 |
| 0:40:47 | こちらは補足説明資料別紙 13、13-1 ページについては、タービン発電機及び非常用時発電機をつけない使用つきの情報を提示することという、 |
| 0:41:02 | ご出席をいただきまして、 |
| 0:41:04 | それを受けまして、主要機器の上層を整理させていただくという形で補足説明資料でございましたすけ 13-1 と 2 次対応パソコンだから受けます。 |
| 0:41:20 | それではこの別紙図 13 について、しっかり概要をように修正箇所の説明をさせていただきます。 |
| 0:41:31 | まず、別紙の 3 本精算の 1 ページをお願いいたします。 |
| 0:41:37 | こちらが別紙 13、タイトルは、機械振動の消火対象の選定過程についてとなっておりますけれども、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:41:46 | こちら日本原子力学会承知原子力発電所の高経年化対策実施基準を踏まえまして、 |
| 0:41:56 | タービン発電機が台頭非常用ディーゼル発電機とを代表構造物として選定していることを表そうしようと思っております。 |
| 0:42:08 | 今回のこのうんと受けまして、こちらが修正箇所の自宅とか研究所ような危機の状況を表にまとめさせていただきました。 |
| 0:42:20 | また非常用ディーゼル発電機基礎につきましては、 |
| 0:42:26 | 機械振動によるコンクリートの経年劣化の影響は小さいと判断いたしまして、多分発電機からのみを評価対象部位とさせていただいております。その評価対象部位につきましては、13を見てし、 |
| 0:42:43 | 添付-1のほうでも申し上げさせていただいております。 |
| 0:42:49 | コメントナンバー10番につきましては、委員長の今、 |
| 0:42:55 | はい。 |
| 0:42:57 | 続きましてコメントNo.11-11、続きまして監査委員の高橋が |
| 0:43:04 | 説明させていただきます。まず11-1なんですけども、補足説明資料の別紙14の重要な機器における表示の主要構造物について示すことと、前回コメントをいただいております、その時の今後の対応としまして、 |
| 0:43:23 | 代表構造物への波を早めに記載しておりましたので、11日の11-1のコメントをいただいていると認識しております。11-1のコメントとしまして、主要構造部について、すべての大気へ対象防毒とすることと、 |
| 0:43:41 | コメントをいただいております。それに対しましてコメント対応としましては、主要坑道について建設時に本体バー式の実施しているすべての対象構造物を明示させていただきました。 |
| 0:43:55 | 具体的な対応としましては、別紙14の |
| 0:44:00 | 14-1ページをご確認いただければと思います。 |
| 0:44:07 | べし重要な中段の主要構造物につきまして追記しております。こちらにつきましては、内部コンクリート、原子炉格納施設基礎、原子炉周辺建屋、制御建屋、廃棄物処理建屋タービン建屋、 |
| 0:44:23 | それと、燃料貯蔵タンク基礎、改版物質で海水管トンネルを指すということで、具体的に対象構造を記載しております。 |
| 0:44:36 | コメントNo.11-1のaとしては、説明としましては以上となります。 |
| 0:44:45 | 続きまして、今回電力の方がコメント整理省のコメントの部分が住民の一番県道の緊張力の設計要求仕事について記載を充実させることというコメントについての最後。 |
| 0:45:01 | ちょっと待っていただきます。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:45:03 | こちらに関しましては、補足説明資料別紙 17 ページ、17 時読み返してみても、県道のフィン県道の緊張力の設計要件しについて記載を充実させるという形で対応させていただいております。 |
| 0:45:22 | それではその別紙 17 につきまして、概要及び審査書の設問をさせていただきます。 |
| 0:45:30 | それで、つつ、 |
| 0:45:32 | す。 |
| 0:45:41 | それ仕組みなの。 |
| 0:45:45 | 開けてきて、やっぱり |
| 0:45:48 | それでも、どのようなことがベース 17 ページで 17 万 1 ページから責任をさせていただきますコメントいただきました。 |
| 0:45:58 | こちらのタイトルテンドンの緊張力予測質問算定過程及び結果についてとなっておりますけれども、こちらが運転開始後 60 年経過時点での検討緊張目標促進を関係性スプレイ過程及び結果を進めていく。 |
| 0:46:16 | その予測するというのが設計要求値を上回っていることを表せ資料となっております。 |
| 0:46:24 | 家庭と結果の順番で説明をさせていただきますけれども、まず過程につきましては、 |
| 0:46:32 | こちらは緊張力の予測値というのは、17-1 ページの図 1 の式によってなり出します。 |
| 0:46:41 | でも、 |
| 0:46:42 | 30 年目の供用期間中検査における測定室から 30 年目以降 60 年までの設けられプレートレスポンスプロジェクトをマイナスすることで、もともとと思いますけれども。 |
| 0:46:57 | そのプレストレス損失の求め方については、17 ページ。 |
| 0:47:03 | 様。 |
| 0:47:05 | はい、にとってプレストレス損失の算定において説明申し上げます。 |
| 0:47:11 | プレストレスどんしくは |
| 0:47:14 | 第 1 回防止計画認可申請資料にならない。 |
| 0:47:20 | 算定するまして、 |
| 0:47:23 | エヌ・ピー・シー工場より線の被ばく精算をして、コンクリートのクリープによるバス、 |
| 0:47:30 | 及び観光収縮によります、それぞれ F2F3、F4 トイレに暮らせ天井半島ますけれども、それらを足し合わせることで、もともと |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:47:43 | またコンクリートの弾性変形に戻すこちらはF1 とさせていただきますけれども、成功すれば 90 ページの 6 ページになりますので、今回のプレストレス地区を求める隊を要請は思いません。 |
| 0:48:00 | はい、また経営層沿いな入力しあわ算出の過程につきましては、 |
| 0:48:06 | 添付の 1 時期 17 ページ以降に今月はさせていただきますおまして、 |
| 0:48:13 | 予測式とプレートレスポンスは 17-11 ページ。 |
| 0:48:19 | Bをしましてます。 |
| 0:48:22 | 続きまして、結果の説明をさせていただきます。 |
| 0:48:27 | 先ほどの過程を受けまして予測値が大阪計量検診を上回ることを確認します。詳細なものとしたしましては、17-12 ページをお願いいたします。 |
| 0:48:45 | はい。 |
| 0:48:45 | 15 年度末にページに示しておまして、30 年目の予測値川へ文書で求めたペレットレスポンス資金をお会いナフサ代用県道の白いご飯平均につきまして、 |
| 0:49:00 | それらの短だ設計要求しを上回ることをお伝えします。 |
| 0:49:07 | そして今回の中期計画外にも市民税し検討になっておりますけども、 |
| 0:49:16 | 1 ページの上のほうにある情報の |
| 0:49:20 | 一番右のレット設計要求しに関する斜削孔のカバーしてその 3 米三を追加しております。 |
| 0:49:31 | 設計要求値は計画認可進めて資料もオープンと決定された変動の定着部の審査の方もして求め方は経費の一番下にある 25 億円も過去／表の通りとなっております。 |
| 0:49:48 | ちょっと、 |
| 0:49:49 | さっきコメント何度住民の一番のに対する説明は以上となります。 |
| 0:49:59 | コメント等が 13 番、補足説明資料別紙 20。 |
| 0:50:05 | 20-1 ページにつきましては、 |
| 0:50:10 | 大飯 3 号炉コントロールD特定格納容器の搭載量に関する長を詰めとどうという、 |
| 0:50:19 | b)に対する対応を決定させていただきます。こちらは、 |
| 0:50:25 | 黒線説明資料です議事の |
| 0:50:28 | 24 ページにも理解をいただいたと思います。 |
| 0:50:34 | 大飯 3 号炉コンクリートで格納容器の室長作業にちゃんと部署を面しております。 |
| 0:50:42 | それでもなお青少年いたします。 |
| 0:50:47 | その別紙人数鳥取県涵養量に生成各層説明させていただきます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:50:54 | 概要につきましては、こちらは日本原子力学会原子力発着求める件すべて時間震度階設定。 |
| 0:51:04 | に基づきまして、運転開始 60 年時点における経営遂行戦後の抽選数操作の かなプレストレスシステムの性能影響与える阿多よりも心拍 |
| 0:51:18 | 交差点硝酸を提供も金属製から御懸念かあい削除所見もペースで来経年劣 化事象がないことというのが表すもの。 |
| 0:51:31 | 続きまして、説明箇所といたしましては、先ほどのコメントなどするのを受けま してます。清水の人数も 1 ページの対応本部でいただいております。 |
| 0:51:44 | 水拠点で示しております通り、 |
| 0:51:49 | 大飯 3 号炉のコンクリート製格納容器の照射量に関するそうバランスし、 |
| 0:51:56 | FPC構成が操作量は先ほど申し上げた月 1 よりも十分に審査のことを示して おります。 |
| 0:52:08 | コメントNo.10 分間に対するの質問は以上となりますし、 |
| 0:52:17 | はい。以上で関西電力から説明をさせていただきます。 |
| 0:52:28 | はい。 |
| 0:52:29 | 規制庁の宮本です。ありがとうございます。 |
| 0:52:36 | すいません、最後に、今は進めていただいたところなんですけども、これは学 会の標準。 |
| 0:52:43 | 河成と建築学会のどこに改訂案を |
| 0:52:47 | その抜粋のところが根拠で実際にナカ測定、 |
| 0:52:52 | なります一定値としてどれぐらい |
| 0:52:55 | Bの経営層相のナカっていう、そういう格好の仕方がない。 |
| 0:53:00 | ということですね、今のこの話ですと、 |
| 0:53:07 | 今回中古の森山でございます。 |
| 0:53:10 | 今回閾値としましては、維持管理指針日本建築学会の維持管理指針を与えと しまして 4×10^{-16} 条ニュートンというものを採用してございます。 |
| 0:53:28 | それに対しまして、60 年時点における大飯 3 号炉の照射量Aとしまして、お示 しておりますのが 10^{-7} 図に劣ら及び縦断 11 条にいうと、これは |
| 0:53:43 | 1 次遮へい器の外側表面等々一次冷却材ループ室の几帳面付近の中性子 照射のオーダーとしてお示ささせていただいて、両者を比較することにより 十分に小さい値であるというふうに記載してございます。 |
| 0:53:59 | 見直せすいませんちょっと私はきちっと生かしなかったと |
| 0:54:04 | わかりました。はい、ありがとうございます。 |
| 0:54:27 | はい規制庁宮本店では規制庁のほうから質問なり確認を進めたいと思いま すが、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 0:54:36 | はい。 |
| 0:54:38 | はい、原子力規制庁のコジマです。 |
| 0:54:41 | ただいま説明いただきました。最初の本文のところについてちょっと確認のために質問いたします。 |
| 0:54:50 | ページは 16 ページの表 10 になります。 |
| 0:54:55 | こちらで |
| 0:54:58 | 評価対象とする構造物と書かれているわけですがけれども、 |
| 0:55:04 | これは特に丸のついてるものは評価対象とする構造物ではなくて、代表。 |
| 0:55:12 | だとか評価点を決めた場所に限っての表示 |
| 0:55:17 | に見えるんですけども、人死刑私の認識と間違っていないでしょうか。 |
| 0:55:26 | 繋がって評価対象となる部分に丸がついてない可能性があるのではないかと いうことです。 |
| 0:55:54 | 関西電力の森山でございます。おっしゃる通り強化対象評価点Aに対する星と り表になってございます。 |
| 0:56:08 | 評価点以外のところで、これらの要員と書かれている例劣化、経年劣化事象 が関係するところについても、 |
| 0:56:20 | 記載をお願いしたいと思いますが可能でしょうか。 |
| 0:56:37 | 関西電力の森山でございます。この表作成した仮定としまして選考の弊社の 先行プラントですとか、例えばファンの縁故プラントも性参考にした上でつく てるつもりでございますけれども |
| 0:56:55 | コメントは自体は拝承をいたします。評価点以外についても、代表構造物に対 してコストをするという事で拝承いたしました。 |
| 0:57:10 | はい。ちょっと認識が間違ってるいると良くないので、例えばの例なんですけれ ども、 |
| 0:57:19 | 失注正側については、 |
| 0:57:22 | 原子炉 |
| 0:57:24 | 周辺建屋、廃棄物処理建屋、海水ポンプ室に丸がついていてそれらは、 |
| 0:57:31 | 代表、 |
| 0:57:33 | 構造物評価点その中からの評価過程を再選んでるわけですがけれども、 |
| 0:57:40 | それ以外の内部コンクリートだとかも、中性化を影響が |
| 0:57:45 | あるっていうことであれば、そこをわかるようにしていただきたいということ です。理由はですね、例えば次の 19 ページをご覧になっていただきますと 4.1. 3、中性化による、 |
| 0:58:01 | 強度低下について、 |
| 0:58:06 | なぜ、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 0:58:08 | 幾つかある中性化の可能性のある |
| 0:58:13 | 評価対象内この |
| 0:58:17 | 三つを選んだのかというようなことをしっかりと確認していく必要があると思うからです。そこら辺はすでに |
| 0:58:26 | 関西電力で確認されていると思いますので、例えば現地確認等で我々確認するわけですが、 |
| 0:58:36 | そのにあたりですね、そもそもどれを対象としているのかというのを確認するためでございます。 |
| 0:58:45 | そういったことから、特に |
| 0:58:48 | 16 ページの表 10 でなくても、例えば 19 ページのこの 4.1. 3 のところに書くとか、そういった方法でも構わないですね。書き方については、関西全力のほうで、 |
| 0:59:04 | 決めていただければと思います。 |
| 0:59:10 | 趣旨は、以上でございます。 |
| 0:59:31 | 関西電力の森山でございます。出資承知いたしました。でありましたら星取表以外のところでご趣旨AO反映できるように検討したいと思います。 |
| 0:59:45 | 原子力規制庁コジマです。よろしく願いいたします。中生海外も含めてよろしく願いいたします。 |
| 0:59:57 | では、続きまして、 |
| 1:00:04 | 本日、説明していただきました。資料のうちですね。 |
| 1:00:13 | 塩分浸透、 |
| 1:00:15 | について確認させていただきます。 |
| 1:00:30 | 時でいきますと、 |
| 1:00:38 | 平成 12、12-1 ページからのものでございます。 |
| 1:00:44 | ここで緩慢たい |
| 1:00:47 | の |
| 1:00:49 | 酸素濃度について、 |
| 1:00:52 | 0.6 とする。 |
| 1:00:54 | 根拠が記載されています。 |
| 1:00:57 | その根拠では添付 2 の論文、 |
| 1:01:02 | に書かれているところから、 |
| 1:01:05 | 0.6 と記載されているんですけども、 |
| 1:01:09 | 質問、コメントの内容では一次情報その根拠とする一次情報をしっかりと確認したいという意味で、 |
| 1:01:19 | 根拠の後ろに括弧で位置情報と書いてございます。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:01:24 | ですので、この例えば 12-3 ページ添付 2 と書かれたところ、 |
| 1:01:32 | のそのの根拠をですね、しっかり確認させてください。 |
| 1:01:44 | 理由はですね緩慢たいEの部分は、あの海水面、 |
| 1:01:52 | かかるといっても、海水の表面のところでは、当然溶存酸素は海中のナカよりも、 |
| 1:02:01 | 予算が多くなるということ。また波支部間いとい鏡をそのまま受けているところ受けてないときもあります受けてないときには、当然、その壁面についている。 |
| 1:02:16 | 海水の用動産数はさらに高くなるという可能性があること、そういったことを踏まえると、0.6 ということは、 |
| 1:02:26 | 私は考えられないと思ってまして、そのの、そういったことを踏まえても 0.6 でよいとするその根拠ですね、特にそういった位置情報があるかどうかを私はわかりませんけれども、 |
| 1:02:41 | そういったものを確認させていただきたい。もしくは考え方をしっかりと説明していただきたいということです。 |
| 1:03:01 | 出野と申します。うん。 |
| 1:03:04 | おっしゃる趣旨は、 |
| 1:03:09 | 十分理解させていただきました。 |
| 1:03:12 | ロールまで例としましては |
| 1:03:15 | 指摘腐食量を算定を |
| 1:03:19 | 降りながら間いを用いてやっている関係で、 |
| 1:03:23 | 森永式の根拠となる論文を引用してこの値を引っ張ってきて、 |
| 1:03:32 | おるとというのが、 |
| 1:03:35 | 説明になりまして、 |
| 1:03:38 | 0.6。 |
| 1:03:41 | それから実態に応じてどうなのかっていう |
| 1:03:45 | 今日ですね。 |
| 1:03:48 | サービスト。 |
| 1:03:51 | 次に進めているわけではないので、 |
| 1:03:54 | いうそんなのをはっきりとした理由をお示しできる。 |
| 1:03:59 | かどうかちょっと今の時点で思っております。 |
| 1:04:07 | 仮にもう少し大きかないかというようなご懸念 |
| 1:04:12 | であれば、 |
| 1:04:14 | このあたりでいいのかっていうところがですね。 |
| 1:04:18 | もう少し調達する必要があると思っておりますが、 |
| 1:04:23 | 何か御持参いただけUALのかどうか、コメントいただければと思います。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:04:31 | 以上です。 |
| 1:04:32 | はい、原子力規制庁のコジマです。そういった情報は私も思っていない。0.6じゃないのではないかと、もちろん 21%。 |
| 1:04:41 | 気中帯が 21%のようなことになることもないだろうと思っていますただ 0.6 という値は余りにも非保守的であり、ちょっと考えられ、内考えにくい。 |
| 1:04:54 | 酸素濃度なので質問をしています。 |
| 1:05:00 | もし、このこれが平行線になるようであれば、審査会合平場のところでしっかりとこちらも他の専門家を呼んで確認をさせていただければと思います。 |
| 1:05:28 | じゃあ、これについて今すぐ回答ということは難しいと思いますので、また |
| 1:05:38 | 関西電力の社内で、 |
| 1:05:40 | 検討した結果を次回のヒアリング等のところで説明していただければと思います よろしくお願いします。 |
| 1:05:49 | 続きまして、今と今の質問と、 |
| 1:05:54 | 関連するのですけれども、 |
| 1:05:57 | 先ほど、 |
| 1:05:59 | また添付 2 で学術論文のことが研究論文として、機械記載されているわけ ですけれども、 |
| 1:06:09 | その |
| 1:06:13 | -7 |
| 1:06:14 | 酸素濃度の 1 行目のところです。 |
| 1:06:19 | 期末体に関して令和ってところがあるんですけれども、これはおそらく |
| 1:06:25 | この飛沫体にあたる部分が、 |
| 1:06:29 | 一番 |
| 1:06:32 | 厳しいのではないかと思います。 |
| 1:06:35 | 今回、 |
| 1:06:37 | 質問の中で、コアを抜いた部分。 |
| 1:06:42 | 定義のポイントからすると。 |
| 1:06:46 | ページの 11-2 では 5.3m のところに当たるんですけれども、 |
| 1:06:53 | これは今の論文の考え方からすると行政の関西電力ですが今こちらから列島 変動というか、もう |
| 1:07:06 | をさせていただいたんですけれども、 |
| 1:07:09 | 疼痛啓発でしょうか。すいません、ちょっと確認だけですけれども、 |
| 1:07:14 | すいません何を規制庁のコジマです。今私が質問していたんですけれども、 |
| 1:07:22 | もしかしたらこれが交差していたでしょうか私が話してる間は例ですけれども、オ ンラインでは関連者声聞こえてます記帳が真っ当でしょうか。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:07:35 | 先ほどの |
| 1:07:40 | 溶存酸素 0.6 のところは引き取ることができました。 |
| 1:07:45 | 後については、今話があったところまでは、 |
| 1:07:50 | 何も音声は聞こえておりませんでした。 |
| 1:08:04 | はい。 |
| 1:08:13 | 規制庁です関西電力の聞こえます。 |
| 1:08:17 | うん。 |
| 1:08:19 | なんですよ。 |
| 1:08:21 | どうぞ。 |
| 1:08:38 | それでは、再開しますはい、はい。規制庁コジマです。 |
| 1:08:43 | 説明ありがとうございます。0.6 か反対 0.6 とする。 |
| 1:08:51 | 事をについて説明いただいたわけですがけれども、ただ 0.6 以外という話ですけどその情報は私も思っはいません。ただ、 |
| 1:09:03 | 0.6 とするのは、先ほどお話ししたように、 |
| 1:09:12 | 海面の上限であることだとか、 |
| 1:09:14 | あとは、 |
| 1:09:16 | 何を受けたり受けなかったりというところで、壁面に魚道酸素壁の海水Eの溶存酸素が増えるのではないかということは考えられるので、それよりは 0.6 よりは大きいだろうと。 |
| 1:09:31 | ただ、気中のように 21%になると考えていません。だからそれが何が正しいのかわからないですけど、0.6 というのは、 |
| 1:09:40 | おかしいのではないかとことです。私も 0.61Aより大きいものに対して与える情報は持っていません。 |
| 1:09:49 | また、この 0.6 であるっていうことを継続して市長されるようであれば、我々もといったことの専門となる職員にですねいろいろ確認をしながら、 |
| 1:10:04 | 例えば、今回の |
| 1:10:07 | 審査会合の場でしっかりと確認していただとか、そういった形をとらせていただければと思います。以上です。 |
| 1:10:19 | 御説明ありがとうございます。 |
| 1:10:22 | 加工使ったの事例とか、 |
| 1:10:28 | 見さしていただいた中ではそういう。 |
| 1:10:33 | 具体的にこのぐらゐの値がいいっていうのがお示しできにくいということがあつてかと思うんですけども、かなり保守的にて 21 を使って計算されている。 |
| 1:10:46 | いう例が見受けられます。これについては承知しておりまして、 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:10:53 | 仮にこのあ 21 というものを使って計算したらこのぐらいの辺りになりますというふうな結果をお示しするというのも一つの |
| 1:11:04 | 何であろうと思っております。 |
| 1:11:07 | ちっセキのβ分解点検例を確認しました。 |
| 1:11:14 | 塩分測定データをみてみますと、 |
| 1:11:17 | 球体を緩慢対等海中たいのデータがかなり同じような非常にレベルを同じような値となっておることから、環境的に言いました 18 款の中でも非常に近い |
| 1:11:36 | 状態にあるというふうに考えてこの値で計算しているというのが実態でございます。 |
| 1:11:44 | 通常ですと管板体がもう少し塩分浸透が |
| 1:11:51 | 進むはず。 |
| 1:11:53 | 思ってるんですけども、非常に釜田委員。 |
| 1:11:58 | 水中高さも原文量が少ない状態となっておるって理由といたしまして、ページ一つ考えられるのがこの建設時に、 |
| 1:12:10 | この部分に科医の付着を防止する。 |
| 1:12:17 | 雨ってということでこう塗装というものを施していたところがございまして、この影響をからですね。 |
| 1:12:27 | 科医中部釜田のほう酸素濃度闘争提供 5 疾病素直遮断されている可能性が高い。 |
| 1:12:37 | いうふうに考えてございます。 |
| 1:12:40 | 説明は以上でございます。 |
| 1:12:48 | 規制庁のコジマです。 |
| 1:12:52 | 今の説明自体は説明として受け賜りましたそこそれぞれそういったことを含めて、再度、 |
| 1:13:00 | 説明内容を充実させているということも含めて、そのあとに、例えば審査会合するかどうかについては、またそのあと説明の後に判断させていただければと思います。もちろん、先ほど説明の中にあつた例のために 20% でやるという方法。 |
| 1:13:19 | ということもあるでしょうし、いろいろどんなまたあの、今の |
| 1:13:25 | 確認について、回答案の説明は考えるのか、ちょっとまだわかりませんがそれもそれをまた伺ってからどういうふうな対応にするかっていうことをこちらは決めさせていただければと思います。 |
| 1:13:43 | 0.6%については以上です。 |
| 1:13:46 | よろしいでしょうか。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:13:47 | はい、関西電力の出野でございます。対象いたしました。 |
| 1:13:52 | はい、では、この 0.6%に若干関係はしてくるんですけども、ただいま説明のあった添付に 12-3 ページ。 |
| 1:14:03 | この研究論文の(7)酸素濃度の 1 行目のところですね、決まったに関しては、通常の待機中の酸素の部分も同じ 21%としたと。 |
| 1:14:15 | おそらくこれはもう管板たいの所条件のところの少し上の部分っていうかそのぎりぎりのところについてはかなり |
| 1:14:25 | 塩分浸透の影響可能性が高いもの、 |
| 1:14:29 | からのことだと思うんですけども、 |
| 1:14:32 | 一方、図 1-2 ページの |
| 1:14:37 | 気中帯の部分は TPP 交点 3m と書いてあります。 |
| 1:14:43 | この部分っていうのは、先ほどの研究論文の |
| 1:14:48 | 飛沫体の部分に関して、 |
| 1:14:50 | と比較するとかなり高いところではないのかなと思うんですけども、 |
| 1:14:55 | その考え方について説明をお願いします。 |
| 1:15:17 | 今、関西電力の出野でございます。 |
| 1:15:22 | 添付 2- |
| 1:15:24 | 文献の |
| 1:15:29 | 同 21 一体って、 |
| 1:15:36 | 今回我々が発注単位で採用して、21。 |
| 1:15:43 | では、 |
| 1:15:44 | そういうちょっと説明端折ったのも可能性としては、結局すいません聞き取れなかった。はい、研究論文で 21 としている部位ですね、場所等、今回、 |
| 1:16:00 | 11-2 ページで気中帯で採取した吹いて P プラス 5.3 との |
| 1:16:08 | 1 的な違いについて、 |
| 1:16:12 | 考察説明をお願いします。 |
| 1:16:16 | 質問で部位をとか、確認させていただいたので、100 計器からの距離っていうのを質問 6 のところで確認させていただいた回答としてここに高さが書いてあるわけですけども、先ほどの |
| 1:16:30 | 研究での水 1%の位置関係ですね、それについて確認させてくださいと、どの程度の違いがあるのか。 |
| 1:16:47 | z |
| 1:16:50 | 構造上ですね、引き回すたい等、 |
| 1:16:54 | やれるものは、この海中ポンプ室は添付 1 ですね、11-2 の |
| 1:17:02 | ご覧いただけて、 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:17:07 | この構造上管海水ポンプ室の |
| 1:17:13 | 一番天井部。 |
| 1:17:16 | TP+201 になりますので、そこからは、 |
| 1:17:26 | かなり上のほうに向かって、 |
| 1:17:31 | おりますので日いわゆる文献にします示します今国会に当たらないということになります。 |
| 1:17:39 | では着水追加の質問として、本日じゃなくて次回でもよろしいので、この飛沫体について、この研究 6 に書いてる飛沫たい。 |
| 1:17:50 | の考えでいくと監査電力すべて関西電力今ご発言されてますけどちょっと音声があったようです。 |
| 1:18:00 | 聞こえないでしょうか。 |
| 1:18:12 | 聞こえますでしょうか。 |
| 1:18:40 | ちょっとますので、 |
| 1:18:48 | はい。 |
| 1:18:59 | 規制庁のコジマです。説明ありがとうございます。先ほど説明いただいた暇地帯の部分、Pointで約 1mよりちょっと若干上、そこら辺だっということなので、あそこもあたりっというのはかなり |
| 1:19:16 | 塩分浸透等による影響が大きいのではないかなと考えています。 |
| 1:19:24 | その |
| 1:19:26 | 期末タイト解散電力で考えている。 |
| 1:19:30 | 部位と今回気中帯としてコアを採取した部位についての塩分浸透の考え方について追加の質問をさせていただきたいと思えますのでどのように考えているかということ |
| 1:19:46 | また次回以降に追加質問のに対する答えとして回答していただきたいと思えますよろしくお願いします。 |
| 1:20:00 | 関西電力の出野でございます。 |
| 1:20:05 | いわゆるTPPぐらいの被ばく単位の保護についてどう考えてるからという値をご説明を追加でさせていただくということでもよろしいでしょうか。はい。規制庁これまでそれでございますよろしくお願いします。 |
| 1:20:23 | 拝承いたしました。 |
| 1:20:57 | 規制庁の山本です。 |
| 1:20:58 | 後のところは、 |
| 1:21:01 | うん。 |
| 1:21:03 | 説明資料の 13 のところも |
| 1:21:08 | 来月だと |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:21:11 | 平成 14 のところで、 |
| 1:21:14 | モルタルバー試験を実施したすべての退職されたところで前回のヒアリングを踏まえたところで、これも |
| 1:21:23 | 前回休んでおっしゃっていたところが反映されてるなんていうことで、 |
| 1:21:28 | 状態です。あと緊張力の設計福祉の考え方というところで、別紙 17-12 ページ以降で修正いっぱいいただいたというところで配布こちらも理解いたしました。 |
| 1:21:46 | はい。 |
| 1:21:47 | なので、 |
| 1:21:50 | あと、規制庁のほうから、 |
| 1:21:53 | 確認があれば、むしろまた二、三万ちゃったりしますと疲れた |
| 1:22:01 | 何かございますでしょうか。 |
| 1:22:03 | 規制庁使う上ですけど、少しちょっと内容ではないんですが幾つか教えていただきたい点がありまして、 |
| 1:22:11 | 1 件目が、 |
| 1:22:13 | 先ほど最初の御説明でクラス 12 とクラス 3 はその高温高圧 II 区分という御説明があったと思うんですが、実際ケース性評価書については、高高圧だけ書けばいいと思うんですけど。 |
| 1:22:29 | 例えばコンクリートの構造物等でクラス 3 についてのその高経年化といえます技術賞を経年化の評価というのは、 |
| 1:22:39 | という形でやられてるんでしょうかというのが 1 点目の質問です。 |
| 1:22:56 | ／N の北側でございます。デコンドライバー政党プラス重要度グラフに或いはそれを支える構造物というところで評価対象ほどやっているんですけども、 |
| 1:23:13 | 例えばですね。 |
| 1:23:16 | 中身についてはこれさ、 |
| 1:23:19 | その支持構造物として、評価対象構造物として選定してるといったところでございます位置を上げるとそういったところでございます。 |
| 1:23:33 | ちょっと地下部です。はい。しさ審査がもう 5 月のところだけを基本的には見ればいいので、どういう形でやられてるかというところだけ確認したかったんですけども多分コンクリート構造物の点検とかは、 |
| 1:23:47 | 基本的には、 |
| 1:23:49 | かなりの部分をカバーされていて劣化状況評価、 |
| 1:23:54 | そのMCPとかそういうものを具体的に評価されるのは、事業度に応じてやっていますという理解でよろしいでしょうか。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:24:06 | はい、監査での北側でございます。御セキいただいた通りの入会れたのかも結構かと存じます。以上です。 |
| 1:24:15 | はい、ちょっと原子力規制庁つかベースで2件目ですが、血糖今回その先ほどPCCVの |
| 1:24:23 | 点検の中で、コウノ機が難しいので、 |
| 1:24:28 | このシュミットハンマーでやっていますという説明があったと思うんですが、 |
| 1:24:33 | それ自身はそれでもいいと思うんですけど、これ例えばその40年目の特別点検になった場合っていうのと、今回30年目で、その一部を規定されてると思いますけど、何か違っているのは大きなところあるんでしょうか。 |
| 1:24:55 | 見込みではまだ先の話なので、 |
| 1:24:59 | 考えられてないというお答えなんかかもしれませんが、わかる範囲で結構です。はい。監査役ちゃうわけよ。おいたんよ、3号機についても今30年目ということで、40年は途中で0も、 |
| 1:25:15 | 40年目の運転延長に関しては、運転延長の |
| 1:25:23 | 質問市が異動が請求されますんで、今後あれ等は特別点検というプロセスももし仮に、申請をするということになれば、そういうプロセスを踏むことになると思いますんで。 |
| 1:25:40 | 我々の会社の状況に応じて検討して参りたいと思っております。以上です。 |
| 1:25:48 | アクセス掴めてしまうわかりましたそれじゃ |
| 1:25:52 | 特別点検にあれば、もったの30年目でやられているものでちょっと他のプラントになるのかもしれませんが。 |
| 1:26:01 | 結果大きな違っているのはあるんでしょうか。 |
| 1:26:09 | もし、 |
| 1:26:11 | 例えばですね申し上げますと、40年目の時のちょっと県警にはGuideではなく、試験項目と試験を行ってるんだ。 |
| 1:26:28 | その考えてます。例えば試験項目でいうとアルカリ骨材反応の |
| 1:26:35 | この知見であるとか、の試験であるとか、それが求められてますんで、そういったところがそれもその原則この最終による方法というような形で求められてますんで、この辺りが大きな違いであるかなというふうに考えております。以上です。 |
| 1:26:55 | はい、規制庁つか別わかりますんでは |
| 1:26:59 | 今回30年目やられてますけどそれはプラントでやってる。 |
| 1:27:04 | 1年目の評価というのを実際にやられている特別点検とは若干違うという趣旨で理解しました経営等も行って、 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|--|
| 1:27:14 | もう前回もちょっとお聞きして、これもコンクリート構造物と直接関係ないのかも しれませんけど、帯信 6 日くらい置けないの |
| 1:27:24 | 塗装に関して、 |
| 1:27:27 | 前性状県でもその定着力が、 |
| 1:27:31 | 自分があって、その機能が劣化していないというのは、 |
| 1:27:35 | どこかで評価されているんでしょうか。 |
| 1:28:09 | 金曜日の関西電力の北川です。そうですね。今ご指摘ありました通り、今回も 大飯 3 号機することで、意義PCCVがコンクリート製原子炉格納容器として、 |
| 1:28:24 | 評価対象に挙げられてるんですけども、その中で整理上のものになるんです が、ハイポイントに関するところ、 |
| 1:28:36 | 耐圧性能であったり、別途収益のであったり、差益のやっぱりそういうところを 受け持っているところについては今回本日説明させていただいたコンクリート の |
| 1:28:47 | 評価書のほうで説明してございます。一方で、漏えい防止機能を持つライナプ レートですね、うちがPULiMSでそれについては原子炉容器側の原子炉格納 容器のほうで、 |
| 1:29:03 | この評価してましてその中で、例えばライナプレートの腐食であるとか、拾われ てあるところ、してございます。 |
| 1:29:14 | またその中で、ま腐食のところでは |
| 1:29:19 | そのやっぱりどの塗装等によって負傷広報していると。 |
| 1:29:25 | いうことで層厚が健全であれば不祥進行の可能性小さいと。 |
| 1:29:29 | ていうの評価をしてございます。 |
| 1:29:32 | 以上でちょっと回答になってるかどうか |
| 1:29:35 | ちょっと今般ですけれどもこれが我々今回動画で答えられる範囲としては以上 になってございます。はい、規制庁つくりますとかあります。とりついて私から の以前の審査会合等で、 |
| 1:29:53 | その決着の話も議論になったことがあるので、別途、五つの内容で対応されて ますかというのを聞いただけで今の答えは消しわかりました。 |
| 1:30:07 | 最後なんですけどちょっと全くないようではないんですけど。 |
| 1:30:12 | て今回その別紙といいますか。 |
| 1:30:16 | かなり増えてきていってですね、ちょっと基本的には、 |
| 1:30:20 | 補足説明資料をまとめた形んで。 |
| 1:30:24 | 一問一答のやり方というのはちょっと古いやり方になってきてですね。 |
| 1:30:32 | 県土の話とか、事象ごとに |
| 1:30:36 | もう 1 点みたいな形になってしまっているの、ちょっと全体を |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:30:42 | もう少しまとめた。 |
| 1:30:45 | 判決 |
| 1:30:47 | するような資料にしていだきたいと思うんですが、ご検討いただけますでしょうか。 |
| 1:30:58 | 安全研究の北でございます。時ご趣旨はあ铁塔今補足説明資料で、本文があつて、さらにヘッドホン戻すする形で別紙が今回台場 20 五つ並んでるんですけども。 |
| 1:31:16 | 利上げ様別紙を減らすというか、 |
| 1:31:22 | 別紙の内容を本文側のほうに取り込むといったイメージでご指摘されてるんでしょうか、ちょっと確認させてください。規制庁掴めですけど、別紙 2 審はそれぞれ細かな御説明いただくので使っていた方がいいと思う。 |
| 1:31:40 | ていてですね、主ができるものは文言に変えていただくのが、 |
| 1:31:46 | 本来だと思っています。ただその、どこまで書かかっていうのとあと細かなものは当然別紙に飛ぶので、そこは昨日の中身によるかなと思っています必ずしもその全部方今貸してくださいという趣旨で行ったわけではありません。 |
| 1:32:03 | ただ、逆にその別紙の数がどんどん増えてきているので、これもやっていくと、何かないことになりそうだなと思ってコメントしています。 |
| 1:32:17 | はい。ですね。すいません感じる北側です。ええとですねそういうですね、キーボードと今おっしゃったような機種で食ってるつもりはあります。 |
| 1:32:33 | 町ですね本文幾らって多分別紙っていうのはちょっと保健部の中の流れの中という流れのナカの測定ももう少しこう、 |
| 1:32:47 | とろう関係のところスポーツぽつとあく当てたところ、一つ一つのテーマを決めてから補足しているというところで、一応ちょっとメリハリがきいたような形になってるのかなと思います。 |
| 1:33:04 | 決しても受けて、 |
| 1:33:07 | ちょっと使うですけどそれは各項目ほど残ってくるのはわかかっていて、それは相当で結構だと思いますって、そういったものが固定的に言うと |
| 1:33:18 | 別紙 20 とか 21 とか、両方とも県土んで。 |
| 1:33:22 | このちっ片方が放射線照射のことでは腐食のことを言っていて、答えを見ても、 |
| 1:33:30 | 比較的部を 1 分といいますか、そんな答えで済む話なので、 |
| 1:33:37 | そういうものがまとめられるんじゃないですか。 |
| 1:33:40 | もう少しこうこう、 |
| 1:33:43 | 整理できるんじゃないかなと思って。 |
| 1:33:46 | で、コメントしました。 |

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|---------|---|
| 1:33:49 | はい、関さに向けてすいませんちょっと理解が読んでるで申し上げたと下の処置しました。もう少しこの別紙多分Ricou一言で済むような資料もこう独立させるというの統合できるようなところは、 |
| 1:34:04 | 統合するというようなちょっと工夫を重ねてもうこ示しの各減らしたというところで可能な範囲で検討させていただきます。以上です。 |
| 1:34:17 | はい、規制庁つかベースよろしくをお願いします。私からは以上です。 |
| 1:34:23 | はい、ありがとうございます。規制庁のほうからは以上になりますが関西電力の方から何かございますか。 |
| 1:34:39 | はい。これ戦略でございます。特にございません。 |
| 1:34:45 | 以上です。 |
| 1:34:47 | では今日ヒアリングを踏まえて修正等もあるかと思しますので、引き続きよろしく願いいたします。じゃあ、このヒアリングは以上で終わりとさせていただきますとありがとうございました。 |
| 1:35:01 | ありがとうございました。 |

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。